

1 研究主題 つながりの中で、自ら学びを楽しむ子の育成
～授業づくりと、人間関係づくりを通して～

2 主題設定の理由

令和3年度に行った、豊川市教育委員会委嘱の研究発表会では、子どもたちの主体性を伸ばすために、研究テーマを「**主体的な学び**」とした。そして、主体的に学ぶ子を「**自ら学びを楽しむ子**」と定義し、その柱を、『**やりたい、伝え合う（伝いたい・聴きたい）、問う**』の3つの姿とした。これが、具体的な「**9つの姿**」の設定につながった。（詳しくは「発達に応じた自ら学びを楽しむ9つの姿」参照）

昨年度は、この研究を引き継いで、「**自ら学びを楽しむ子**」を育成するために、それぞれの教師が、自分の思いをもって手立てを模索し、実践することで、互いに学び合った。

しかし、この一年が過ぎたとき、「自分の思いをもって手立てを模索することの難しさ」と、「学校としての方向性の不確かさ」が問題となった。また、コロナが明けた今、以前のように、「子どもたち同士のつながりを大切にしたい」という声も高まってきた。子どもたちの様子を見てみると、これまでの研究の成果から、自分なりに考え、役割に責任をもって前向きに取り組もうとする子が多い。一方、「自分に自信がもてず、考えをしっかりと伝えきれなかったり、仲間と相談しながら活動する喜びや充実感を味わえずにいたりする子も増えてきたように感じる。

そこで、本年度は、**学校としての方向性を統一し、他者とのつながりを大切にしたい**と考え、研究テーマを「**つながりの中で、自ら学びを楽しむ子**」とし、**授業づくりと人間関係づくり**に焦点を当てる。

3 研究の方法

(1) めざす子ども像

「つながりの中で、自ら学びを楽しむ子」とは

○夢中になって活動を楽しむ子

「自分でやってみたい!」「みんなでやりたい!」

○伝えること、聴くことを楽しむ子

「伝えられて自信がもてた」「みんなの考えを聞きたい」「そういう考え方もあるのか」

○問いを楽しむ子

「なんでこうなるの?」「もっと知りたい!」「いい方法を発見した!」「本当にそうなの?」

「問い」とは、疑問

・・・なぜだろう、はてな、不思議だな

探究

・・・もっと知りたい、考えたい、新しいものを生み出したい

疑う

・・・本当にそうなの



(2) 発達に応じた「自ら学びを楽しむ」9つの姿

	やりたい	伝え合う (伝えたい・聴きたい)	問 う
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分を成長させたい」と、自己分析をする。 ・失敗を通して、よりよいものをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを参考に、新たな自分の考えをもち、伝える。 ・自分の思いに根拠をもって伝え合うことを通して、課題解決に向けて新たな考えを共につくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で問いをつくる。 ・問いを解決しようとする中で、さらに「本当にそうなの？」と問い直し、新たな問いを生み出す。 ・他者に問う。(友達や教師、教材) ・社会に問う。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・次にやりたいことを自分で見つける。 ・失敗を次のやる気につなげようとする。 ・試行錯誤を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「友達の意見を聴くって自分のためになる」と思う。 ・「どうして?」「やっぱり」と自分の考えと比較しながら聴く。 ・自分の思いに根拠をもって伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いをみつける。 ・「問題解決っておもしろい」と思う。 ・他者に問う。(友達や教師) ・自分に問う。(自問自答を繰り返す)
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動に興味関心をもって取り組もうとする。 ・失敗を恐れずやってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝えるって楽しい」と思う。 ・「聴くって楽しい」と思う。 ・自分の思いに理由をつけて伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はてな?」「なぜ?」「どうなる?」など、わくわくすることをたくさん発見する。

4 仮説

よりよい人間関係づくりを行うことにより、児童は、授業の中でもつながり、自ら学びを楽しむ力を身に付けることができるであろう。

5 研究推進体制

昨年度は、それぞれの教師が研究したい手立てに分かれて部会を立ち上げた。それは、自分の思いをもって、より有効な手立てを模索できると考えたからである。

しかし、手立てごとの部会と、公開授業の教科による部会の2つが存在することとなり、特に、公開授業の指定授業者は、手立てごとの部会で話し合う機会をもつことができなかった。

そこで、今年度は、低・中・高・特別支援ブロックで部会を立ち上げることにする。今年度の公開授業は、「算数」「社会」「道徳」「特別支援」である。そこで、各ブロックで研究する教科を

以下のように絞り、**教科部会**とする。

教科部会 →

低学年	… 算数
中学年	… 道徳
高学年	… 社会
特別支援	… 特別支援

また、教科部会と同時に、**授業づくり部会**と**人間関係づくり部会**を立ち上げることで、日頃の授業や人間関係においても、つながりを意識して子どもを育てることができるようにする。

授業づくり部会	人間関係づくり部会
<p>基本的な授業のつくり方について、話し合い、提案する。また、日々の授業で、様々な学級を参観し合うことで、どのように子どもたちに指導、支援をしているのかを学ぶことができるように計画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習規律の徹底…授業で大切にすること (別紙2) ○教室環境の整備 ○つながりを意識した話し方、聞き方 (話型) ○構造的な板書 ○学習の足跡を残すノート指導 ○振り返りの充実 ○ペア、グループ活動の活かし方 	<p>自分や友達によさに気づいたり、共に活動する喜びや充実感を味わったりすることのできる活動について、話し合い、提案する。また、必要があれば、資料などを定期的に配布し、全職員が活用しやすいようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別活動を中心とした学級集団づくり <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な係、当番活動 ・コミュニケーション能力の向上と他者理解のためのSST・SGE ・みんなで盛り上げるレクリエーション ○自分たちで考える交流活動 (学級・学年・地域)

教諭は、「教科部会」＋「授業づくり部会 or 人間関係づくり部会」の2つの部会に属することになります。



6 研究構想図

学校教育目標 やさしく かしこく たくましく

やさしく …「みんなで よりよく」
自分や周囲を大切にし、よりよい生活をしようとする子
生命、人権を大切にする子

かしこく …「よく聴き、よく伝え、よく考え、よく行動する」
主体的に学ぶ子 問いを大切にする子

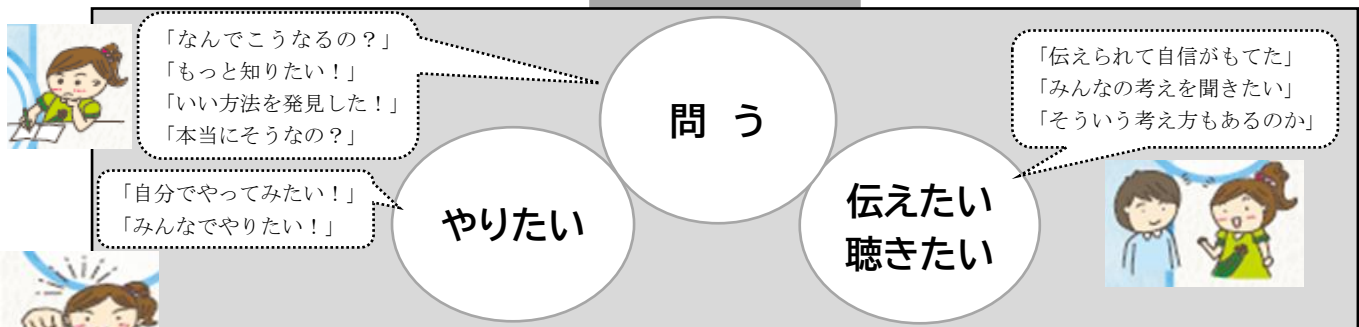
たくましく…「失敗を恐れず、試行錯誤できる子」
困難なことに挑戦し、試行錯誤できる子
心も身体も健康な子

めざす子ども像

- 夢中になって活動を楽しむ子
「自分でやってみたい!」「みんなでやりたい!」
- 伝えること、聴くことを楽しむ子
「伝えられて自信がもてた」「みんなの考えを聞きたい」「そういう考え方もあるのか」
- 問いを楽しむ子
「なんでこうなるの?」「もっと知りたい!」「いい方法を発見した!」「本当にそうなの?」

研究主題 つながりの中で、自ら学びを楽しむ子の育成
～授業づくりと、人間関係づくりを通して～

仮説 よりよい人間関係づくりを行うことにより、児童は、授業の中でもつながり、自ら学びを楽しむ力を身に付けることができるであろう。



授業づくり

- 学習規律の徹底 ○教室環境の整備 ○つながりを意識した話し方、聞き方
- 構造的な板書 ○学習の足跡を残すノート指導 ○振り返りの充実
- ペア、グループ活動の活かし方

人間関係づくり

- 特別活動を中心とした学級集団づくり
 - ・主体的な係、当番活動
 - ・みんなで盛り上げるレクリエーション
 - ・コミュニケーション能力の向上と他者理解のためのSST・SGE
- 自分たちで考える交流活動（学級・学年・地域）